

プロフィール

【講師】

◆森 泰夫 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 大会運営局次長



東京都出身。1991年横浜国立大学教育学部卒業後、東京急行電鉄株式会社入社。2004年日本陸上競技連盟に転じ、2007年世界陸上競技選手権はじめ多くの国際大会、東京マラソン、名古屋ウイメンズマラソンなどの立ち上げを統括する。2014年より公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 大会運営局次長に就任。大会運営として、広範囲にわたる競技運営の全体設計、運営準備作業（IOC／組織委員会内部調整／関係行政調整／競技団体調整等）を所管。また、56競技にわたるテストイベント事業を実務総責任者の立場で管轄。オリンピックスタジアムでの会場責任者や札幌でのマラソン／競歩の統括責任者も兼任した。

【パネリスト】

◆三崎 富査雄 株式会社野村総合研究所 コンサルティング事業本部シニアパートナー



和歌山県出身。京都大学文学部卒業。1992年野村総合研究所に入社。社会産業コンサルティング部、公共経営戦略コンサルティング部等を経て、2012年4月コンサルティング事業本部パートナーに就任、2021年4月より現職。主にサービス産業（スポーツや観光、医療等を含む）に関わる政策立案や事業化支援、実行支援型プロジェクトのマネジメントを数多く担当。日本オリンピック委員会オリンピック・ムーブメント事業専門部会部会員等も務めている。

◆杉山 茂 スポーツプロデューサー・当財団情報交流委員



東京都出身。慶応義塾大学文学部卒業。1959年ディレクターとしてNHK入局。スポーツ番組の企画、制作、取材を担当。80年代後半からオリンピックなどの放送権ビジネスを手がける。オリンピック取材冬・夏12回、88～92年スポーツ報道センター長、98年NHK退局。フリーとなりJリーグ理事、2002年FIFAワールドカップ日本組織委員会放送業務局長、2019年ワールドカップラグビー国際映像制作コンサルタントなどを務め、現在は番組制作会社「エクスプレス・スポーツ」エグゼクティブプロデューサー。大崎企業スポーツ事業研究助成財団理事、日本アンチドーピング機構評議員、全国高体連評議員などを務めている。

【コーディネーター】

◆海老塚 修 桜美林大学 客員教授・当財団情報交流委員



東京都出身。慶応義塾大学経済学部卒業。1974年電通に入社。ワールドカップや世界陸上などをはじめとするグローバルスポーツのマーケティングを担当した。国際陸連 TV 委員、横浜市スポーツ振興事業団評議員などを歴任。電通退社後、慶応義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授に就任(2017年3月退職)。現在、日本BS放送の番組審議委員、余暇ツーリズム学会副会長を務める。著書に「マーケティング視点のスポーツ戦略」、「スポーツマーケティングの世紀」、「バリュースポーツ」がある。